



美瑛町そだちの教室通信
6月号
2021年5月21日



ご理解とご協力をお願いします

学校からの文書等で既にお知らせしている通り、緊急事態宣言の発令に伴う学校の対応につきまして、保護者の方々には大変ご迷惑をおかけしています。感染拡大防止対策強化の観点から、他校通級の休止と保護者面談、及び、予定されておりました発達検査についても延期とさせていただきます。一部の保護者さんとは、新年度以降の面談も終わっておらず、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後、宣言解除の時期やその後の対応について明確になり次第、改めて連絡させていただく予定です。それまで、どうかお待ちください。

なお、電話による相談はいつでも可能です。昨年度から直通の電話が開通していますので、どうぞご活用ください。

そだちの教室電話番号（直通） 92-1700

保護者面談 ありがとうございます



東小学校の保護者面談の日程に合わせて、そだちの教室の面談も実施させていただきました。お忙しい中の面談、ありがとうございました。今回は支援計画の合意形成が中心となりました。今後面談では、LD-SKAIPの結果報告・個別の指導計画の合意形成も予定しています。日程については、今後の状況にあわせて検討していきます。ご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。

6月 さんの通級予定 日程表※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22	23	24	25
28	29	30		

※今後、予定が変更する可能性もあります。その際は連絡いたします。ご理解ください。

「そだちの教室ってどんなことするの？」③

…通級指導教室での「算数」について…

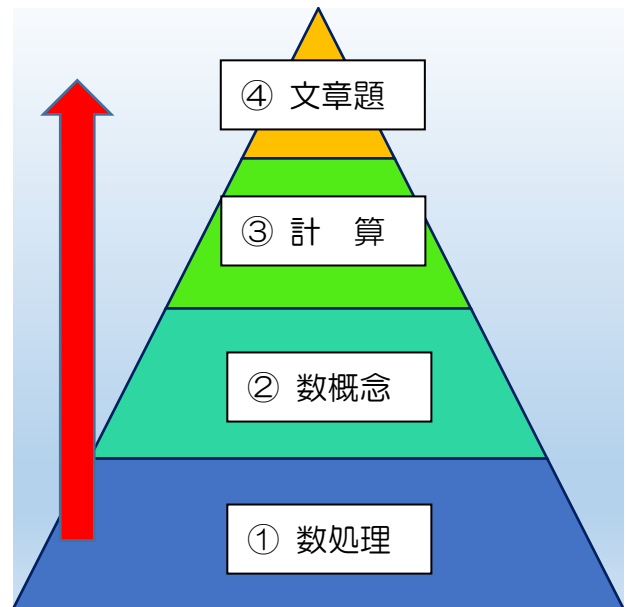
私たちの生活において、「数」は大変身近な存在です。例えば、

「今日の会議は旭川で行われる。車で行く予定なので、〇〇分かかりそうだ。だから、家を出るのは、□時□分にしよう…そうだ、帰りにはスーパーに寄って、夕飯の食材も買ってこよう。お財布の中に△000円入れておこう…」

このように、私たちにとって「数」は日常生活から切り離すことのできないものである一方で、その数を扱う算数という学習は、手に取って触れたり、目で見たりすることの難しい、非常に抽象性の高い学問であると言えます。

右の図は、「算数」のピラミッドです。基本的に、算数の学習はこの丸数字の順に積み上げていくことになります。詳細については、次号以降でまとめていく予定ですが、算数の領域では、(難しい言葉が羅列します…ごめんなさい)

- ① 「数処理」…数詞・数字・具体物の対応関係が習得できる。
- ② 「数概念」…上記の数処理の対応関係が成立することで順序性や集合性としての数の概念が習得できる。
- ③ 「計算」…数の概念の理解があつてこそ、数と数の操作(計算)のもつ意味を理解することができる。
- ④ 「文章題」…様々な数の変化や操作を推論し演算式を決定し、これまでに身に付けた計算のスキルを発揮して、文章問題の求める値を導き出していく。



『通常学級で役立つ算数障害の理解と指導法』より 熊谷恵子・山本ゆう 著

このような流れで学習が進められていきます。

面談の折りに、多くの保護者の方が「私が算数の宿題を見てあげる(教えてあげる)ことはとてもとても無理です…」とおっしゃる通り、算数は実に難しい学習と言えるでしょう。

それでも、子どもたちには「食べるものや洋服を買う」「電車に乗るときに切符を買う」などの金銭感覚や、目的的に着くまでの距離感覚や時間感覚などを理解し、それらを扱えるスキル(計算することや電卓を使える技術)をもって、生活の中で不自由なく数を扱うことができるようになって欲しいと願います。

次号では、具体的な算数の場面を扱いながら、子どもたちの認知の特性等に合わせた指導の仕方について紹介していきたいと思ひます。